

令和3年度食料自給率・食料自給力指標について

令和4年8月、農林水産省は、令和3年度食料自給率および食料自給力指標について、以下のとおり公表しました。

食料自給率とは、国内の食料供給に対する食料の国内生産の割合を示す指標で、食料の国内生産および消費の動向を把握するため、毎年公表しています。

食料自給力指標とは、国内生産のみでどれだけの食料を最大限生産することが可能かを試算した指標で、食料の潜在生産能力の動向を把握するため、平成27年から公表しています。

◆令和3年度の結果

(1) 食料自給率

カロリーベース食料自給率 38% (前年度より+1ポイント)

生産額ベース食料自給率 63% (前年度より-4ポイント)

(2) 食料自給力指標

米・小麦中心の作付け：1,755kcal/人・日 (前年度と同じ)

いも類中心の作付け：2,418kcal/人・日 (前年度より-72kcal/人・日)

その他、参考で「都道府県別食料自給率」などを公表しておりますので、以下URLを参照ください。(https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/220805.html)

事業所職員による直営施工体験の紹介

頻繁ではありませんが、ちょっとした補修や施工の難しさを体感するため、昨年から一部の事業所職員で直営施工体験を始めているので紹介します。昨年は、水路の張りコンクリート施工の最終工程の一部を受注者さんの協力を得て行い、今年は中央管理所の建物クラック補修を完全直営で行いました。

事業所職員は、工事や業務の発注者としての意識は高いのですが、受注者さん側の視点を持つことはなかなか難しいです。実際に施工を体験することで、その難しさやしんどさ、仕上がりをきれいにするための丁寧さなど、簡単そうに見える作業1つにも様々な苦労があることに気付くことができました。このように、職員が施工を体験し、受注者さん側の視点を知ること、受注者さんと心をつなげていきたいと思います。



編集・発行 リフレッシュ濃尾用水・編集事務局

紙面の内容に限らず、農業農村整備事業に興味のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

農林水産省 東海農政局 新濃尾農地防災事業所 (しんのうびのうちぼうさいじぎょうしょ)
(〒491-0903 愛知県一宮市八幡5-1-14 TEL0586-47-7720 FAX0586-47-6851)

【Webサイトアドレス】

☆新濃尾農地防災事業所:

https://www.maff.go.jp/tokai/noson/shinnobi/

☆農林水産省: https://www.maff.go.jp/

☆東海農政局: https://www.maff.go.jp/tokai/

ご意見・ご質問はホームページの
お問い合わせフォームから!

新濃尾事業所PR動画を公開しています。

☆第1弾☆

いちばん知りたいことに答える
土地改良の授業
https://www.youtube.com/watch?v=UjCciz5H5g



☆第2弾☆

3分でわかる! 土地改良事業
~新濃尾地区~

https://www.youtube.com/watch?v=ipOXjBf1U1U



新濃尾農地防災事業の紹介動画はこちら。

【濃尾平野の農業を守る ~濃尾平野 水と戦い水を活かす~】

https://www.youtube.com/watch?v=Zel3FWB9nLo



リフレッシュ濃尾用水

農林水産省東海農政局
新濃尾農地防災事業所
2022年10月 第95号

Topics!

- ★令和5年度農村振興局関係予算 概算要求の概要
- ★ニューマチックケーソン工法 -小水力発電施設建設工事[2期目]-
- ★令和3年度食料自給率・食料自給力指標について
- ★事業所職員による直営施工体験の紹介

令和5年度農村振興局関係予算 概算要求の概要

—公共で4,982億円、非公共で1,730億円、計6,713億円(対前年116.0%)—

農林水産省は、令和4年8月31日に「令和5年度農林水産予算概算要求」を取りまとめ、公表しました。そのうち、農村振興局関係予算については、公共事業で4,982億円、非公共事業で1,730億円、計6,713億円(対前年116.0%)を要求しました。

農村振興局関係の重点事項は、以下のとおりです。

- 世界の食料需給を巡るリスクの顕在化に対応するとともに、農林水産業の成長産業化と農山漁村の次世代への継承を実現するため、「農林水産業・地域の活力創造プラン」等に基づき、食料安全保障の確立と農林水産業の持続可能な成長を推進するための予算を要求 —

1 競争力強化・国土強靱化のための農業農村整備の計画的な推進

①農業農村整備事業<公共>	3,933億円
②農地耕作条件改善事業	294億円
③農業水路等長寿命化・防災減災事業	312億円
④農山漁村地域整備交付金<公共>	913億円

2 デジタル技術により地域資源を活用した農山漁村の課題解決

①農山漁村振興交付金	138億円
②鳥獣被害防止対策とジビエ利活用の推進	127億円
③特殊自然災害対策施設緊急整備事業	3億円

3 日本型直接支払の実施

①多面的機能支払交付金	493億円
②中山間地域等直接支払交付金	265億円
③環境保全型農業直接支払交付金(農産局関係予算)	28億円

4 中山間地域の活性化

①中山間地農業ルネッサンス事業<一部公共>	495億円
②棚田地域の振興	各種交付金の内数

※詳細については、
農林水産省Webサイト(https://www.maff.go.jp/j/nousin/soumu/yosan/index.html)をご覧ください。

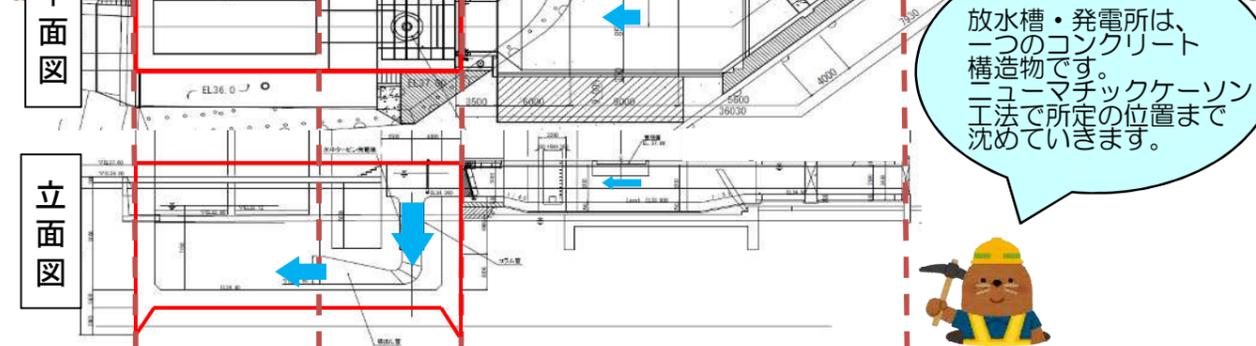
ニューマチックケーソン工法~小水力発電施設建設工事~

新濃尾農地防災事業所では、令和3年度から、関係土地改良区※における施設の維持管理費軽減を目的とした小水力発電施設の建設を進めており、令和5年度末（令和6年3月）の完成を予定しています。

本施設では、木曾川から取水した河川水を、左岸導水路（農業用水）と発電導水路（発電用水）に分水し、発電用水は発電に使用後、余水吐放水路に放流し、再び木曾川へと流下する計画です。

本誌では、この工事で採用している、「**ニューマチックケーソン工法**」について取り上げます。

※宮田用水土地改良区、木津用水土地改良区、羽島用水土地改良区、江南市土地改良区、扶桑土地改良区

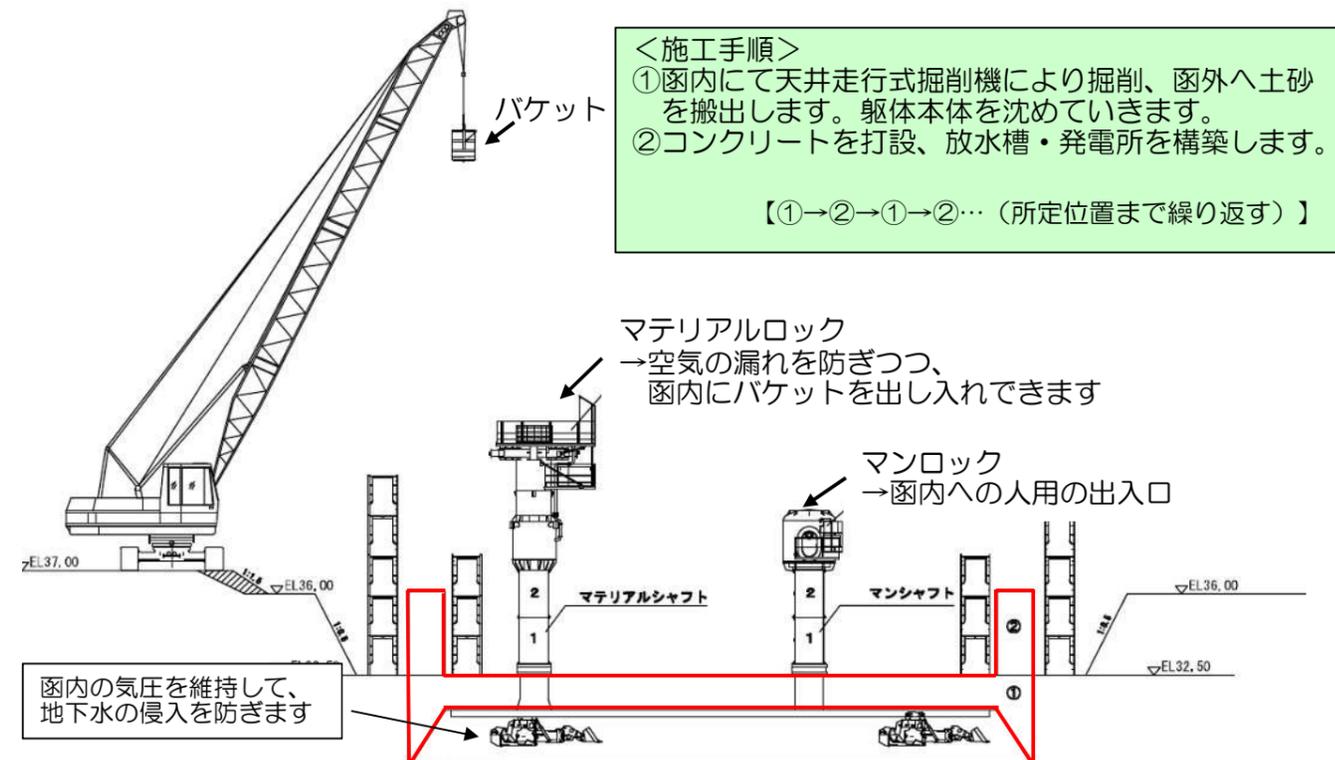


ニューマチックケーソン工法とは??

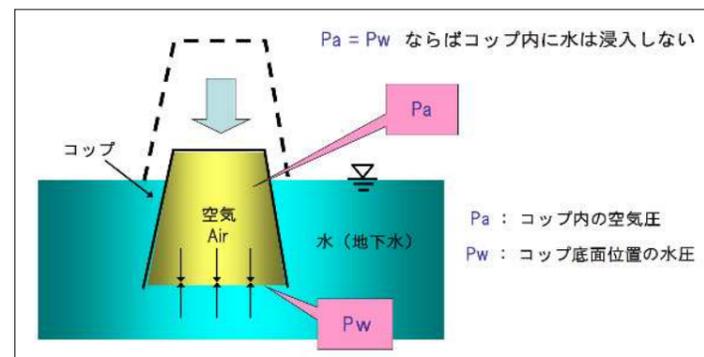
フランス語で、「Pneumatic caisson」と書き、「空気の」+「函」という意味です。

日本語では潜函工法といい、躯体下部に気密な作業室（函内）を設け、ここに地下水圧に見合った圧縮空気を送り込むことにより地中から湧き出てくる地下水の侵入を防ぎ、ドライな環境で掘削と土砂搬出を繰り返しながら、所定の支持地盤まで躯体本体を沈めていきます。

近年では、地上から遠隔操作で掘削機（無人）を運転することにより、40mを超える大深度施工が可能となります。



- <施工手順>
- ① 函内にて天井走行式掘削機により掘削、函外へ土砂を搬出します。躯体本体を沈めていきます。
 - ② コンクリートを打設、放水槽・発電所を構築します。
- 【①→②→①→②…（所定位置まで繰り返す）】



丸十工業株式会社HPより引用
『ニューマチックケーソン施工概要』

函内には、傾斜計などの様々な計器が設置されており、測定値を確認しながら掘削を進めます。※本工事では、写真のような掘削機（有人）で作業します。

工事期間中は、工事車両の通行、交通規制等で地域住民の皆様にはご不便をおかけいたします。ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。